

第3回 まちなみウォッチング マイクロプラスチックってなに？

2021.8.1

海岸や河口、海の中に浮かんでいる5mm以下の小さなプラスチックの破片=マイクロプラスチックが、今、とても大きな問題になっています。もともとは、みなさんが毎日使っている、ペットボトルやレジ袋、コンビニのお弁当の空き箱、お菓子の袋など、生活の中にあふれているプラスチックです。使い捨てられて、ごみになったペットボトルは、量が多くて目立ちます。

今回は、ペットボトル飲料をいつでもどこでも買える自動販売機について調査しました。1時間で歩いてまわれる範囲に、いったい何台の自動販売機があるか？そんなにたくさんの自動販売機が、必要か？そもそも自動販売機は24時間電力を消費しているし、私たちが望んでいることか？を考えました。使い捨てプラスチックを減らすことに対して、日本の対策が、世界の中でとても遅れていることも知りました。

今の私たちには、なにができますか？私たちには、新しい行動が必要です。水とうを持ち歩き、ペットボトルを使わないように、生活を見直すことが大切です。持ち歩く水とうに飲み物を入れてくれるお店や給水機を増やしてもらうように意見を出す。自分はどうな社会を望んでいるのか、答えは人それぞれですが、考えることがとても大切です。



第6回 エコクッキングってなあに？

2021.10.17

エコクッキングは環境のことを考えて料理をすることです。環境のことを考えて生活するとき、私たちがやってみやすいのが料理です。食べることは、みんなが毎日することだからです。料理は作る、食べるだけでなく、材料の買い物や使った物の後片付けも必要です。エコクッキングは、買う、作る、食べる、片づけることのすべてを通して、実行し続けていくことが大切です。

今回は、ワールドカフェ方式という、みんなでたくさん話をするという方法で、エコクッキングを考えてみました。大切なことは、正解は一つではないということです。今日、いろいろな意見を聞いたこと、考えたことの体験は必ず役に立って、必要な時に新しい知恵が出てきます。そこから自分はこのことを思いついた、自分だったらこんなふうやってみると、考えを広げていくことができます。みなさんには、体験をくりかえしながら、発想の柔軟性を追いかけてほしいのです。

多くの人が集まってしまう環境問題。問題解決のために何かしたいと思っても、どうしていいかわからないとき、一番とりくみやすいのは、毎日やっていることを少しずつ変えることです。毎日の小さなことの積み重ねが大きな変化になるのです。



第4回 リサイくるくる探検隊 資源のゆくえを追いかけてよう！

2021.8.21



資源として出された、あきびん、あきかん、ペットボトル、トレーのゆくえを追いかけてきました。台東区の資源が最初に集められるリサイクルの中間処理施設では、区内で集められた資源物をさらに種類別に分けていくようす、資源ではないものがまじっているのを取り除き、再生品を作る次の工場に運ぶために必要な大きさに固めているようすを見ました。途中の処理までだけでも、とても大変です。私たちが資源の日に出した物を、本当に資源にするには、きちんと分別しなくてはなりません。飲み物、食べ物の容器などが洗われずに出されているためにイヤなおいが出ていることも知りました。

私たちが、資源を出すときにできることは、「きれいにして出す」と「分別して出す」です。この2つができていないと、「良いリサイクル資源」になりません。次に大切なことは「再生品を使う」です。再生品とは、リサイクル資源で作った品物で、それを使うことでリサイクルが完成します。協力ではなく、一人ひとりの参加です。

資源は大事ですが、リサイクルにはたくさんの手間とエネルギーを使います。使い終わったらすぐにリサイクル資源になってしまうペットボトルなどは使わずに、長く何度でも使える水とうを選び、自分で飲み物を入れて持ち歩くことが一番大切なことです。

第5回 グリーンコンシューマーになろう

2021.9.19



環境を考え、環境を大切に行動する消費者がどんなことに配慮しているのかを知りました。実際の買い物では、考えることがたくさんありました。通信に詳しく書いています。環境問題の一つであるごみ問題は「選ぶ」=「買う」という行動によっておきています。買うときに考えれば、ごみになるものを減らすことができます。お金の使い方も大切です。すぐにごみになるものを選んだり、食品を食べずに捨ててしまうことは、お金を捨てていることです。

私たちは毎日、いろいろなコトやモノを「選ぶ」ということをしながら生活しています。食べ物や洋服や文房具を買うとき、何を買おうかと選んでいます。遊びに行く時にも、車で行くか電車でいくか、歩いていくか自転車で行くかを選んでいます。何をを選ぶかによって、環境への影響が大きくなったり小さくなったりします。「エシカル消費」という言葉があります。社会問題や環境問題の解決に取り組む会社の製品やサービスを選んで消費する考えです。海をよごし、魚の数より多くなりつつあるマイクロプラスチックのもとになる、使い捨てプラスチック製品を禁止する世界の流れを進めている会社。環境に気をつけ、大切に、環境配慮のものを作ることをがんばっている会社。そんな会社の商品を買って、応援することが私たちにできます。その行動こそグリーンコンシューマーです。



第8回 雑木林で木こり体験 (八王子自然体験)

2021.12.12



「東京都八王子戸吹北緑地保全地域」で「戸吹北森を守る会」の方々から指導を受けながら、雑木林と生態系の保全活動のお手伝いをしました。今回は、自分の身長よりも高いアズマネザサという下草の刈り込み、落ち葉かき、落ち葉溜プール遊び、間伐など、どれも新鮮でした。半袖Tシャツで頑張った落ち葉かきはカブトムシの幼虫を育てるプールを満杯にしました。「楽しかった」「またやりたい」と、前向きな声が上がりました。

森林には多くの役割があります。土砂災害を予防してくれたり、ダムのように水をためてくれます。多くの生き物がその中で生きているし、私たちに資源を提供してくれます。木は成長する中で二酸化炭素を吸収し、酸素をはき出します。私たち人間の生活が出す二酸化炭素も吸収してくれるのです。間伐や下草刈りなどの手入れをされない森は森本来の役割を果たせず不健康ですが、きちんと手入れされた森は健康で生態系も豊かになります。戸吹北緑地でも絶滅危惧種と指定されている貴重な生物が沢山生きているそうです。一度人間が手を入れた森は人間が面倒を見る必要があります。そして、自然との付き合いは続けることがとても大切です。機会を見つけてまたやってみましょう。